教科	科目	単位数	学年	学科・選択等
保健体育	保健	1	2	全学科・必履修

科目の概要	心と体を一体として捉え、生涯にわたって健康を保持・増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を身につける。		
学習目標	思春期から中高年期までに出会うさまざまな健康問題について学ぶとともに、労働と健康との関係や、働く人々の健康が保持増進されるしくみなどについて学ぶ。		
教科書	現代高等保健体育(大修館)		
副教材等	現代高等保健体育ノート(大修館書店)、DVD、パワーポイント		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	さまざまな健康問題について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、課題の解決に向けて活動や発表ができている。	さまざまな健康問題について、課題の解決をめざして総合的に考え、判断し、それらを表している。	さまざまな健康問題について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。
評価の方法	1. 集団の中でルールを守れている。 2. 定期考査は3回＋αテスト 3. 提出物(ノート･レポート･感想文等) 4. 各学習項目の評価規準(各項目の、目標のおおむね満足できる状況) ･学習内容について関心を持ち、自らの学習を調整し、学ぶ意思を持って取り組んでいる。(主体的に学習に取り組む態度) ･学習内容に関する課題の解決をめざして総合的に考え、それらについて説明している。(思考･判断･表現) ･学習内容について理解したことを発言したり記述したりしている。(知識･技能)		
担当者より (注意事項等)	健康体力の保持増進を実践出来るような態度と基本的知識を積極的に身につけて欲しい。		

◎年間学習計画

学習内容	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
ライフステージと健康	○									
思春期と健康	○									
性意識と性行動の選択		○								
妊娠・出産と健康		○								
避妊法と人工妊娠中絶			○							
結婚生活と健康			○							
中高年期と健康				○						
働くことと健康				○						
労働災害と健康					○					
健康的な職業生活					○					
大気汚染と健康						○				
水質汚濁、土壌汚染と健康						○				
環境と健康にかかわる対策							○			
ごみの処理と上下水道の整備							○			
食品の安全性								○		
食品衛生にかかわる活動								○		
保健サービスとその活用									○	
医療サービスとその活用									○	
医薬品の制度とその活用									○	
さまざまな保健活や社会的対策										○
健康に関する環境づくりと社会参加										○